

蕨 8 広報WARABI

2013/平成25年
わらび・746

- 平成25年8月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 7月1日現在人口：72,367人 前月比 +21人
男 36,829人 女 35,538人
世帯数：35,712
人口密度：14,189人/km²



法被姿で元気に練り歩き くるみみこしのお通りだ

「わっしょい、わっしょい」と元気なおみこしの練り歩きで幕を開けたのは、7月6日、くるみ保育園で開かれた「くるみまつり」です。法被姿の5歳児クラス19人が、飾りつけをしたおみこしを担ぎ、大奮闘。盆踊りやゲームも行われ、親子150組は夏の日を満喫しました。

～今月の特集～

- 私たちが語る
戦争体験

わ
WARABI



昭和63年に平和の象徴として建立された平和の母子像(市民公園)

私たちが語る 戦争体験

終戦から68回目の夏を迎えました。同じ過ちを繰り返さないためにも、戦争の記憶を風化させてはいけません。今月は、市民の皆さんの戦争体験から平和の尊さについて考えてみたいと思います。



もりくぼ けんじ さん
塚越7丁目・89歳

散った日本の戦闘機

私の下に白紙が届いたのは、昭和19年1月のことです。品川区の実家から列車を乗り継ぎ福岡へ。爆撃を避けるため、博多港から外地へ出航したのは真夜中のことでした。

下士官候補生として、満州ハルビン技術教育隊第二六三部隊に所属し、数か月間の教育を受けた後、従軍を経て、奉天の造兵廠へ転属となりました。

当時、数千人の日本人が働いていたこの軍需工場。私は、戦闘機の弾倉の補修や小銃の組み立てに従事し、手に血豆を作りながら、必死に汗を流していました。ところが、戦局は悪化する一方。ある日、遠くの空で数機の戦闘機が墜落するのを見ることがありました。「よし、やったぞ!」と仲間と高揚したのもつかの間。上空で飛行を続けたのはアメリカ軍のB29でした。

酷寒のシベリア抑留

昭和20年8月15日、私

たちは終戦とともに武装解除。捕虜となり、貨車に乗せられ向かった先は、ソ連中央部・カラカンダの収容所でした。冬季は、零下30度以下。凍え死ぬような寒さのなか、私たちはひたすら木材の運搬に従事させられました。作業は常にソ連軍の監視を受け、仕事にはノルマが課せられていたのです。更に、多くの抑留者を苦しめたのが食事です。口にできたのは、ニシンの汁物や僅かな黒パン、飯

東のナホトカの港へ移送され、船で海に出たとき、初めて日本への帰還を知られました。京都の舞鶴港に引き揚げたのは、昭和24年11月3日のこと。私の抑留生活は約4年と2か月にも及びました。

先を告げられぬまま、極

この経験を語り継ぎます。

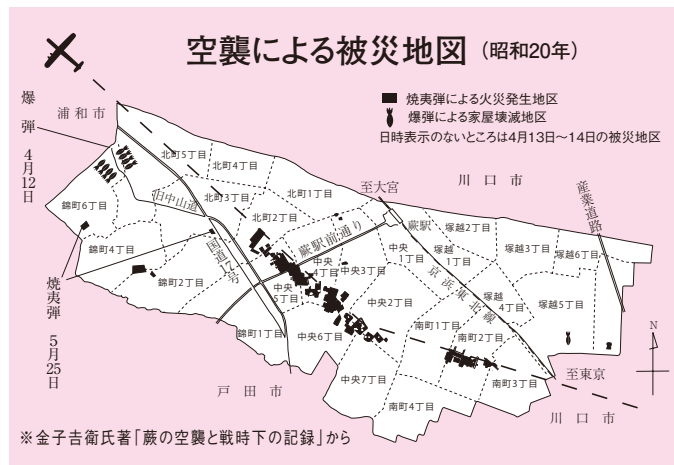
▼舞鶴港で交付された引揚証明書。帰郷後に食料や衣類の支給を受けました



▶戦後の強制抑留の慰勞として、内閣総理大臣から贈呈された表彰状



▲満州ハルビンでの従軍時代(当時20歳)



たじま きょうこ
田嶋 京子 さん
錦町3丁目・75歳

幸せを奪った焼夷弾

「空襲だ！早く逃げろ」その声に慌てて外に飛び出すと、目の前には火の手が迫っていたのです。当時、7歳だった私は、今の城址公園がある辺りに並んでいた木造の三軒長屋に、両親、7つ上の姉

と2つ下の妹の5人で暮らしていました。昭和20年4月13日、午後8時頃。私は布団の中でした。敵機来襲。突然、夜の静寂を裂くように空襲警報が鳴り響いたのです。避難を呼びかける警防団の怒号のような声が飛び交うなか、急いで表へ出ると、向かいの建物が炎に包まれていました。既に道は、荷車を引く人や子を連れた母親たちでひしめき合い、なかなか前に進むことができません。更に、辺りに茂る背の高い草には、焼夷弾の火が付き、風にあおられ不気味に体を揺らしていました。人波に身を預けるように日本車輦蕨工場(川口市・芝園団地付近)近くの田んぼへたどり着いたときのことです。付近に落ちた

焼夷弾の破片が私たちを急襲。母は足に大やけどを負い、姉は臀部の肉がえぐれ、妹はその小さな左腕を失いました。その後、母らの入院により病院での生活を余儀なくされた私にとって、そこでの4か月間は、忘れることができません。もがき苦しむ負傷者の姿、患者にすら食事が提供されない現実。こうした状況のなか家族を支えてくれたのが空襲を免れた父でした。電車で病院に通い、看病する傍ら、お米や野菜、ときには七輪を持参して食事の支度をしてくれました。しかし、そんな父も、勤めていた軍需工場の閉鎖とともに職を失い、心身ともに疲れ果ててしまったのでしよう。終戦から1年後、帰らぬ人となりました。戦争では、失うものはあっても、そこから得るものは何もありません。未来を担う子どもたちのためにも、「平和な社会を守り続けて欲しい」。これが私の切なる思いです。



おかむら たまへ
岡村 タマエ さん
南町2丁目・95歳

子を抱えて駆けつけた夜

当時、三和町には軍需会社の社員宅として880戸もの営団住宅がありました。そこへ私たちが入居したのは、昭和19年4月のことです。それから1年を経た4月13日。その日は、朝から東京の空が騒がしく、「今日は逃げたほうがよいかもしれない」と夫もしきりに口にしていました。するとその夜、南方から数十機のB29が編隊を組み、頭が割れるかのような爆音をとどろかせ、頭上に姿を現しました。既に防空壕に逃げ込む時間はなく、私は僅かな食料を入れた風呂敷を腰に巻き、

2人の子を抱えて家を飛び出しました。「ヒュルヒュル」と奇妙な音をあげ、容赦なく降り注ぐ焼夷弾の雨。地面に接すると、火花が破裂するかの様に火を噴き、その油が道端の泥に染みて燃え、今にも足元に迫るようでした。無我夢中で走り続け、現在の第一中学校の辺りにあったサツマイモ畑に身を潜め、周囲を見渡すと夜空は赤く染められていました。幸い、会社の人たちと防火に当たっていた夫も無事でしたが、自宅は焼夷弾の直撃を受けて全焼。あのとき、少しでも逃げ遅れていたら。家族4人焼け死んでいたことでしょう。蕨を襲った空襲は、死者50人、家屋の焼失や全壊、半壊などは400戸に上りました。生命や財産。戦争は、一瞬にして全てを奪います。二度と悲劇が繰り返されないことを願ってやみません。



昭和34年の三和町(南町2・3丁目)

平和都市宣言

昭和20年8月、広島、長崎に人類初の原子爆弾が投下され、早くも40年の歳月が流れました。その間、唯一の被爆国である我が国は、恒久平和を崇高な理念として憲法に掲げ、自由と正義を愛し、世界平和に寄与してきました。しかるに今、世界の超大国を中心とした核保有国が競って核軍備拡充を図っていることは、まことに脅威であり、この核軍拡競争に対して、世界のいたるところで、平和希求の叫びがとみに高まりつつあります。このような国際情勢の中で、戦争は人間が起こすものであり、また人間の力によってこれを防ぐことができることをしっかりと心に刻み、平和で豊かな社会を次の世代に引き継いでいくことが、現代に生きる我々の責務であると考えます。私たち蕨市民は、平和憲法の精神を守る立場から、非核三原則が厳守されることを強く希望し、世界のあらゆる国の核兵器の速やかな廃絶を願うものであります。蕨市は、市民の平和を願う心を結集し、ここに「平和都市」であることを宣言いたします。

昭和60年9月9日 蕨市

ご参加ください 平和を願う催し

ここ4ページでは、公民館や歴史民俗資料館などで開催される平和事業についてご紹介します。パネル展や戦争体験者のお話などを通して、戦争の悲惨さや平和の尊さなどについて考えてみませんか。ぜひ、ご参加ください。



蕨市平和都市宣言塔（蕨駅西口駅前広場）

公民館などの催し

中央公民館

夏休み平和クイズラリー／6日～15日 平和パ

ネル展「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」／6日

～15日 戦時下のお話と食を味わう／7日(水)

午前10時 先着50食 詳細
同館(☎432・2530)

東公民館

平和で豊かな社会を願う蕨市民のつどい／3日(土) 午前9時 市民公

園 平和之母子像清掃活動ほか 詳細同館(☎442・4052)

西公民館

ナガサキ原爆写真パネル展／5日～11日 平和を願って紙芝居・だこ汁

試食会／7日(水) 午前10時 詳細同館(☎442・4054)

南公民館

平和パネル展「私たちの平和への想い」／2日まで 詳細同館(☎442・4055)

北町公民館

平和パネル展／18日まで 平和試食会／7日

(水) 正午 すいとんの試食 限定100食 詳細同館(☎432・2225)

下蕨公民館

平和パネル展「世界の人權問題」／30日まで 詳細同館(☎441・1560)

旭町公民館

平和パネル展「原子力と私たちの生活」／11日まで 平和祈念事業 夢・希望・平和／9日(金)

午前10時 戦時体験講話や紙芝居、すいとんの試食など 50人 詳細同館(☎432・4053)

福祉・児童センター

戦争をかたる／9日(金) 午後2時 語り手 服部道子さん 小学生以上 詳細同センター(☎431・7300)

平和祈念の黙祷

広島市で6日、長崎市で9日に原爆死没者の追悼と平和への祈りをこめた式典が開かれます。また、15日の終戦記念日には、政府主催の全国戦没者追悼式が開かれます。蕨市も平和宣言都市として、これらの式典に合わ

せ、6日(火)は午前8時15分から、9日(金)は午前11時2分から、15日(木)は正午から敬虔な黙祷がささげられるよう、防災無線で呼びかけを行います。1分間の黙祷をささげましょう。詳細庶務課(☎433・7705)

歴史民俗資料館 第24回平和祈念展

「戦争と子どもたち」／9月29日まで 開館時間 午前9時～午後4時半 休館日 月曜日と9月17日・24日 戦争当時の子どもたちの学校生活や遊び道具などを中心に、約100点を展示 詳細同館(☎432・2477)

世相を反映した学用品など



情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

〔無料で差し上げます〕

▼冷蔵庫 単身者向けサイズ 取りに来てくれる人へ 佐藤・☎475・9114

〔譲ってください〕

▼機織り道具 取りに伺いますへはたごっこ・川野・☎090・2497・1748

〔見に来ませんか〕

▼蕨少年少女合唱団創立55周年演奏会 9月8日 午後2時 市民会館 600円／入古川・☎433・9887

〔仲間になりませんか〕

▼わらびシニアパソコンクラブ 24期生募集 10月開講 第1・3金曜日 午後1時半 中央東小学校隣・旧加藤文具2階 月2000円 パソコン持参 入額賀・☎432・5217

▼児童合唱団「野うさぎ」 土曜日 午後4時15分 南公民館 月3500円 幼児・小学生 入近藤・☎441・5659

▼ABCキッズ(幼児英会話) 月3回水曜日 午前10時 北町公民館か旭町公民館 月2300円 未就園児へ吉川・☎090・8814・1072

▼田中良忠員画教室(蛤貝細密画) 月1回土曜日 午後1時 文化ホールくるる 月5000円 初心者・女性歓迎 入田中・☎431・2959

■蕨市シルバー人材センター会員募集／対象＝健康で働く意欲と体力のある原則60歳以上の人 登録制 問い合わせ＝同センター(☎433・0962)



ジェーソン アーブさん アメリカ
南町2丁目・39歳

この
まちに
暮らして

ま・ち・の・話・題

アメリカの南中部・テキサス州の州都・オースティン市出身のアーブさんは、2年前に来日し、半年前から南町のシェアハウスで暮らしています。都内の大学で文化人類学の研究をしているアーブさんにとって、調査したいことの1つが成年式

の歴史です。「人生の節目と地域の行事が重なっているのが興味深いですね」と、目を輝かせます。また4月には、蕨の街並みを紹介するブログを開設。「蕨と世界をつなぐ懸け橋になりたい」と、すっかりこのまちを気に入ってくれたようです。

この数な～に 30回目

宿場として栄えた蕨の歴史を今に伝える、「宿場まつり」が今年、**30回目**（11月3日開催）を迎えます。初めて開催した昭和59年は、水戸黄門道中などの仮装行列で大盛況だったそうです。今もその流れを引き継ぎ、ミス織姫を中心に練り歩く大名行列は祭りの人気イベント。蕨市観光協会では、催しをいっそう華やかにするミス織姫とミス宿場小町を今年も募集しています。資格は来年成人式を迎える市内在住在勤者。皆さんの若い力で蕨を盛り上げていきませんか。詳細＝同協会（☎434・5601）

わらびりんごパイ作り



蕨本陣跡リニューアル



あさがお&ほおずき市が華やかに開催



地域で祝う駅の大還暦



新議長に比企氏を選出



いちのせきかずいち 一関和一副議長
ひきこうじ 比企孝司議長

- ▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料／井上・☎442・0259
- ▼楊名時（太極拳）土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4500円／浦島・☎224・5915
- ▼蕨北町サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 北小学校 月1500円／2000円（未就学児は年間10000円）年中・小学生／小泉・☎090・4948・5936
- ▼和楽備ラジオ体操練の会 月・水・金曜日 午前6時20分 城址公園 ストレッチも行います／平田・☎444・2222
- ▼子ども日本舞踊なでしこ 月3回木曜日 午後4時半 下蔵公民館 月1000円 年中・小学生／宮崎・☎433・8628
- ▼（参加しませんか）日帰り旅倶楽部 城下町へ行こう小田原へ11月23日1000円 説明会あり／岩本・☎090・3431・4295
- ▼ダンスパーティー 10日・22日・29日 午後1時 文化ホール くるる 499円／大塚・☎441・7373
- ▼ダンスパーティー（カエデ会）18日 午後1時 文化ホール くるる 499円／岩田・☎441・2343
- ▼（ご相談ください）蕨断酒会（酒害相談）6日 中央公民館 14日 南公民館 22日 旭町公民館 午後7時／岡田・☎441・3172

高齢者や子どもは要注意

暑さが続く8月もしっかり熱中症の予防を

暑い日が続き、熱中症にかかる人が増えています。重症化しやすい高齢者や小さな子どもは、特に注意が必要です。また、外にいるときだけでなく、室内や夜間でも油断ができません。熱中症に関する知識を身につけて、元気に夏を過ごしましょう。

親と子の ニュースの 小窓



外出時には帽子と水筒を忘れずに

涼しい所で過ごしこまめな水分補給を

ワラビ ただいま〜外は暑いよ。喉渴いちゃった。
お母さん あらっ、水筒持って行かなかったの。熱中症になっちゃうわよ。
じいちゃん 今年は、県内だけでも1400人以上（7月21日現在）が救急搬送されているそうだ。
ワラビ そんなに〜。
お母さん 気温が30度以上の真夏日に多いそうよ。あとは、風が弱い日や湿度が高いときもね。
じいちゃん そういう日は、できるだけ涼しい所で過ごすこととこまめな水分補給がたいせつだな。
お母さん そうね。水分は喉が渇く前や外出前からとるといいわ。塩分を含んだスポーツ飲料などが効果的みたいよ。
ワラビ はい。ところでどんな人が熱中症に気をつけたほうがいいの？
お母さん 特に注意が必要なのは、高齢者や小さな子どもたちみたい。
じいちゃん 我々のことか。室内や夜間でも油断できないみたいだぞ。この機会に保健師さんに詳しく聞いてみよう。

室内・夜間も危険 早めの対応で予防を

ワラビ なぜ、高齢者や小さな子どもは熱中症に特に注意が必要なの？
保健師 小さな子どもは、体温の調節機能が発達していません。外だとか地面からの照り返しを受けやすかったりするので、それに状態をうまく伝えられないです。ね。
お母さん 親が気をつけていなきゃ。高齢者は？
保健師 実は熱中症で救急搬送される、4割以上が65歳以上の高齢者です。
ワラビ そうなんだ〜。
保健師 高齢者は暑さや喉の渇きが感じにくくなっているため、エアコンの利用や水分補給が遅れる場合があります。室内や夜間でも要注意ですよ。
じいちゃん 早めの対応が重要となるのだな。



エアコンや扇風機などを上手に利用して、涼しい環境づくりを

保健師 寝る前も意識的に水分をとったほうがいいですね。それが脳梗塞や心筋梗塞の予防にもつながります。あと、エアコンなどで室温が28度を超えないようにしましょう。
お母さん 室内に温度計を置くのいいわね。
保健師 そうですね。もし、頭痛や吐き気などがあれば、すぐ、病院にかかりましょう。また、周囲の人たちの高齢者への心配りもたいせつですね。
ワラビ ご近所にも声をかけてあげようっと！
保健師 熱中症は適切な予防で防ぐことができます。体調に合わせて、無理をせず夏を過ごしましょう。なお、市では9月末まで熱中症対策として、公共施設を開放する「クールオアシス蔵」を行っています。ご利用ください。



ほっと・エッセイ 62

宿場から駅へ～蕨本陣跡修復と
蕨駅開業120周年

市長 頼高英雄

昨年、開設400年を迎えた中山道蕨宿の歴史を今に伝える蕨本陣跡は、昭和48年に、蕨宿本陣家のご子孫である岡田眞雄氏が私財を投じて自宅の一部敷地を利用して建立したもので、市民や蕨を訪れる人々に蕨の歴史や魅力を伝えるシンボリック存在となっています。

この度、建立から40年が経過し、老朽化も見えてきたことから、現当主である岡田民雄氏の手により、大規模な修復が行われました。木目を強調した外観などすばらしいリニューアルとなっています（広報蕨5ページに写真）。くしくも、リニューアルが完成した翌日には蕨駅開業120周年記念式典が行われました。蕨駅開業は明治26年7月16日で、当時の岡田正康・蕨町初代町長が蕨駅実現に尽力をされました。宿場も駅も、人が行き交う交流の拠点であり、まちの顔でもあります。宿場から駅へ歴史が受け継がれてきましたが、これからも、歴史やコミュニティの豊かさや利便性の高さを兼ね備えた日本の一のコンプクトシティ蕨の更なる発展に向け、市長として、力を尽くしていきたいと思っています。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。ただし、今月は8日。9月は12日です。時間は午後1時～5時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へ



夏限定！ちびっこ記者大奮闘 子どもクラブ

北町公民館

小学生26人が参加した、北町公民館の「プロ直伝写真教室」は、家族や友達、日常生活などを自由に撮影し、発表する全3回の講座です。7月22日の初回終了後、子どもたちは、貸し出された一眼レフを首から提げ、早速ネタ探しに出発。「木の上にセミがいるよ」、「きれいに花が撮れた」と、日に焼けた顔から白い歯をのぞかせます。更に、影や遠近法などを利用した、子どもならではの柔軟な発想の作品にも挑戦。美しい写真、おもしろい写真、その1枚1枚に、色あせることない夏の思い出を詰めこみました。

わが家のアイドル



こと葉ちゃん
(1歳4か月)

うへだ かずや
上田 和也さん
綾子さんの

長女

北町3丁目

—496—

「1歳を過ぎた頃から、独り歩きができるようになった言葉。最近では、コミュニケーションもとれるようになってきました。『あい』と、私を見つめてお皿を渡してくるときは、おなががすいている合図。おもちゃを受け取る

ときには、『あい』の声とともに小さくうなずいて、ありがたいの気持ちるを伝えてくれるんですよ。そんな言葉には、名前にちなんで、言葉をたいせつにする、すなおで元気な子に育ってほしいですね」と、母親の綾子さん。

せ 成長ホルモン

成長ホルモンは、脳下垂体から分泌され、成長期に背を伸ばしたり骨の成長を助けたりするホルモンです。成長期以降は若

かるた DE アンチエイジング



蕨市立病院
柴田 優子 医師

さを保つ役割を持ちます。「寝る子は育つ」とはよく言ったもので、睡眠中に最も多く分泌されます。しかし、30歳頃から分泌が低下すると、皮膚の劣化、精力や免疫、記憶力の低下などが現れます。肥満は分泌の妨げとなるので、適正体重を維持しなければなりません。日頃からよく運動し、睡眠の質を高めることでホルモンの分泌を促進する効果があります。

健康増進（アンチエイジング）外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページで



真剣なまなざしで励む自主稽古

輝いています

ひと

曲芸師

たか はし しゅう ま
高橋 将馬 さん

喜びあふれる舞台を夢見て

傘

の上をまりが転がり始めると同時に、あふれる子どもたちの歓声。その輪の中心にいるのは、一人前の曲芸師を目指す高橋将馬さん（24歳・北町2丁目）です。

傘やまり、こまを巧みに操り、稽古に励む高橋さんを子どもたちが見入っている様子は、まるで舞台さながらです。

高橋さんが曲芸を始めたのは、大学に入学してすぐの頃。人と違うことを趣味にしたいと思いついたのは、ジャグリングや傘回しでした。独学で身につけた技術をイベントなどで披露するうちに、「見る人の驚いた顔や笑顔に喜びを感じるようになりました」と話します。

卒業後は、観客の反応が良かった傘回しの技術を極めたいと、和芸の道へ進むことを決意。舞や曲芸、話芸や鳴り物からなる大衆芸能で、400年以上の歴史を持つ江戸太神楽の門をたたきました。稽古では、師匠や兄弟子から傘の持ち方、姿勢や目線などの基本を徹底的に学んだ高橋さん。これまで傘を持つ手が左右逆に構えていた癖も、現在は正しい位置で構えるようになり、習練を重ねるにつれ、しだいに技の安定感も増していきました。今では、乱回しという傘の周りをまりが回る、ダイナミックな高等技術にも挑戦しています。

こうした日頃の稽古に加え、人前での度胸をつけようと、公民館や児童館などで芸を披露したり、講座の講師を務めたりしています。活動を通して、「地域での交流を深めながら喜ばせ方や盛り上げ方を学ぶことができ、芸の肥やしになりますね」とにつこり。

今後の目標は、「伝統ある江戸太神楽を守り続け、多くの人に自分の芸を見て喜んでもらいたいです」と話す高橋さん。笑顔あふれる夢の舞台へと、芸の道を歩み続けます。

紹介します！ 皆さんの市民活動

キラリ!!
みんなの力日本語ボランティア
わらび中央

メッセージ

さかた りょうすけ
坂田 良介 代表異文化交流の輪を広げ
誰もが住みよいまちへ

日本語ボランティアわらび中央（平成13年発足・会員13人）は、外国人の日本語の習得や日本での生活に慣れてもらうためのお手伝いをする団体です。週2回（火曜日＝午後1時半～3時半、水曜日＝2時半～4時半）、中央公民館で、自由に参加できる日本語教室を開催しています。

教室では、参加者の母国の様子について話すことも多く、そういった意味では、異文化の相



各国の料理を楽しみながら交流を深める皆さん

互交流の場とも言えるのかもしれないですね。そんな触れ合いを更に深めようと、花見や観光、各国料理の調理教室といった催しも実施しています。7月17日には、韓国のサムゲタンやチヂミ、バングラデシユのデザートなどを楽しみました（右写真）。

蔵は外国人が多いまちです。多文化共生の実現を願う私たちの活動にご賛同いただける人は、気軽に教室にお越しください。また、10月2日から11月27日まで、中央公民館（☎432・2530）で「日本語ボランティア養成講座」全8回を開催します（申し込み＝9月2日～18日に同館）。ご参加をお待ちしております。

このコラムでは、わらびネットワークステーション（☎445・7256）の市民活動登録団体を紹介しています。